

5 月 4 日：新型コロナの再燃によりベトナム株はまちまち。

5 月最初の取引となった 4 日のベトナム株式市場はまちまちの展開に。銀行株の上昇でホーチミン市場の VN 指数は下落から持ち直した一方でハノイ市場の HNX 指数は新型コロナの再燃から弱い動きとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.23% 高の 1,242.2 ポイントだった。

騰落別では 252 銘柄が下落、140 銘柄が上昇した。50 銘柄は変わらずだった。

同指数はほぼ終日、前日終値を下回って推移したが、多くの銀行株が買われたことにより値を戻し、プラス圏で引けた。

VN30 指数を構成する 9 行の銀行株のうち、ヴィエティンバンク (CTG) +2.2%、テクコムバンク (TCB) +2.4%、VP バンク (VPB) +1%、軍隊商業銀行 (MBB) +0.9%、TP バンク (TPB) +0.6%、ベトナム投資開発銀行 (BID) +0.3% を含む 7 行が上昇した。

ビンググループ (VIC)、ホアファットグループ (HPG)、FPT (FPT)、カンディエン不動産 (KDH) といった銘柄も 1.7~2.4% と上昇した。

しかしビナミルク (VNM)、バオベトホールディングス (BVH)、マサングループ (MSN)、ペトロベトナムガス (GAS)、モバイルワールドインベストメント (MWG) といった多くの優良株はさえない展開でマーケットの重しとなった。出来高は高水準を維持し、売買高は 7 億 9,850 万株、売買代金は 21 兆 5,000 億ドン (9 億 2800 万米ドル) となった。

「依然として心理的要因である『Sell in May (五月売り)』と、複数の都市での新型コロナの再燃が投資家に影響を与えている」 (アナリスト)

複数の企業は第 1 四半期に好決算を発表したが、株価はまだ下げている。例えばタインタインコン・ビエンホア製糖 (SBT) の第 1 四半期の純利益は 225% 増だったが、株価は昨日 0.3% 下げた。

「先週統計局が公表した 4 月単月と今年最初の 4 か月間の社会経済レポートでは、4 月の消費者物価指数（CPI）が前月比で 0.04%低下し、経済の状況がはるかに良くなっていることが示された」（バオベト証券）

「VN 指数は 5 月第一週に 1,268～1,275 ポイントの抵抗線を試すと予想される。この抵抗線は依然として変動を生み出し、株価が近づくと調整する可能性がある」（アナリスト）

ハノイ市場では、HNX 指数は 1.43%安の 277.71 ポイントで引けた。

売買高は 1 億 200 万株以上で売買代金は約 2 兆ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。